



日本の名城シリーズ その5

仙台城 (青葉城、五城楼との別名もある。国の史跡に指定) 築城1601年 廃城1871年

慶長年間に伊達政宗が築城してから・廃藩置県・廃城令までの約270年に渡り伊達氏代々の居城であり、仙台藩の政庁であった。この仙台城は約2万坪で、徳川家康の江戸城に次ぐ大きさを誇り、全国最大級の城であった。幾度となく、地震などによる損害を受けながら修復を繰り返し、奥羽越列藩同盟盟主として戊辰戦争を経るも、一度も戦火を見ることもなく要塞としての機能を終えて、その後は明治初期から大正にかけてその大半が失われた。数少ない遺構であった大手門、脇櫓、巽門は国宝に指定されていたが、太平洋戦争時の仙台空襲により焼失した。現在では、宮城県知事公舎正門の建築に転用された寅の門の部材が残るのみである。 (ウィキペディアより引用)

定例会議 & 新年会

新年支部活動の始まりは定例会議と新年会を兼ねて行っている。昨年までは県外地区の会員との関係も考え上野で17時から開催していたが、夜の時間帯にいろいろな事件・事故の心配があり、高齢者となった我々も暗い道を帰る危険を考え、今年から昼に開催しようと言う事にした。

開催場所については従来と比較して時間的にあまり変わらない西船橋の「和民」で平成28年1月12日に開催、参加者は11名と少ないが前年と変わらない集まりで開始された。冒頭支部長から挨拶があり、長い間支部の事務局長を務め、一時は本部の副会長を兼務し、組織の運営に多大な貢献をされた木間さんが、体調不良の関係からリタイアされることになった。残った役員でその職務をカバーして今年も楽しく運営して行こうとの話があった。

その後今後の予定について話があり、他支部の定期総会に出席する人選について相談し、役員各自の希望を優先して各支部への出席者を決めた。

また定例会議は昨年まで奇数月の第三土曜日と決めていたが、役員の中でこの日は地域の行事と重なることが多いため、今年5月から第四土曜日に変更することで全員了解した。

会議終了後新年会に移り、ビールで乾杯し和気あいあいと歓談が始まった。

丁度お昼時のことでもあり並べられた料理に腹を満たすことから始まり、一段落すると各々昨年体験したことや今年にかける願望等の話も出て、昼からの宴会は盛り上がった。



(記 編集委員)

バーベキュー会

支部行事バーベキュー会、場所は柏駅からバスで約20分の所にある「柏の葉公園」内の施設にて平成27年9月16日(水)に開催した。元々同地は旧陸軍東部第105部隊が使用していた軍用地であり、日本初のロケット戦闘機「秋水」も駐留していた柏飛行場で

あった。平成8年に着工し平成11年に千葉県立の公園として完成した。東葛飾地域のほぼ中央部に位置し、地域の「緑・スポーツ・文化」の拠点として整備が進められている。45ヘクタールの広大な敷地に芝生広場、多種類の樹木林、花壇など豊かな自然が楽

しめるほか、総合競技場やコミュニティ体育館、野球場、庭球場などのスポーツ施設、さらには日本庭園をはじめとする文化施設があり、幅広い年齢の方々の憩いの場となっている。



▲ 柏の葉後援 バーベキュー場

その一角に平成21年10月から、中央広場レストハウス前にバーベキュー場がオープンした。このバーベキュー場の売りは機材と食材がセットになったパッケージプラン、「手ぶらでOK」快適にバーベキューが楽しめるとのことで決定した。

第30回同窓祭

例年母校の食堂で開催していた同窓祭は、アルコールがないと盛り上がらない、費用は多少かかっても他の場所で開催出来ないかと参加者からの要望により、30回と言う区切りのよい時となる今回、本部役員の方々及び関係者諸氏のお骨折りで、会場は蘇我にある「JFEみやざき倶楽部」にて開催された。

参加者約150名の方々が受付をして会場内へ、席は自由席となっていた。

費用は少々必要になるがセッティングから後片づけまで全て手配してくれる。

従って手ぶらで行き何もしないで飲み食いわいわいがやがやと直ぐに出来るのが良かった。幸い天気にも恵まれ曇っていたが気温も高くなく、緑と池に囲まれ一時のリフレッシュが出来た事が何よりだった。ただ残念なことは参加者が8名と少なかった。

ちなみに利用料金は

食材・器具込みライトプラン 一人	2800円
生ビールサーバー10ℓ	12000円
後片付け費用一人	800円

上記の費用がかかったが、自分たちで焼いて飲み食べるだけなので、手間がかからず利用時間4時間はあっという間に過ぎ去り、後片付けもなく爽やかな風に後ろを押されながら、樹木の繁る道を爽快な気分で帰路に着いた。

(記 編集委員)



▲ 同窓祭会場「JFEみやざき倶楽部」

今回の同窓祭司会進行役は、東葛支部吉田支部長が担当し、式次第にそって肅々と進む。



▲ 司会進行役の東葛支部吉田支部長

式次第

1. 校旗入場
2. 黙祷
3. 開会のことば
4. 会長挨拶
5. 学校長挨拶
6. 来賓祝辞
7. 元学校長紹介
8. PTA会長紹介
9. 乾杯



▲ 校旗入場

式はOB・OGによる演奏の中校旗入場で始まり、旅立ちをされてこの同窓祭に参加出

来ない教職員と同窓生に対し、全員で黙祷を行い、その後乾杯のご発声で懇親会がスタートした。会場内は自由席となっていたが、自然と同期の仲間や支部の仲間、久しぶりに会った仲間同志が集まる事になり、話が盛り上がっていた。



▲ 会場内

* 喜寿のお祝い

司会進行役を務める東葛支部吉田支部長を含め6名の方々がお祝いを受け、花束贈呈並びに吹奏楽OB・OGによる演奏が花を添え式典が盛り上がった。



▲ 喜寿のお祝い

アトラクションとして同窓生によるかくし芸も登場、玄人もびっくりするような芸の披露もなされた。

* 詩吟(南総支部小林氏)



▲ 南総支部小林氏による詩吟

* 大江戸玉すだれ(千葉市支部嶋村氏)



▲ 千葉市支部嶋村氏の大江戸玉すだれ

* 外房ハワイアン・ダンディズによる演奏



▲ 外房支部ハワイアン・ダンディズの演奏

* 花笠踊り(会場内をぐるりと回る、同窓生の中には輪の中に飛び入りし、ロボットのようにぎこちない動きで楽しんだ人もいた)。

予定された時間もあっという間に過ぎ去り、最後は恒例の校歌斉唱で盛況であった第30回同窓祭の幕切れとなった。

(記 編集委員)

ファミリーツリーを作って楽しむ

鎌形 武久(33C)



「桃栗3年、柿8年…の後に、梨の馬鹿野郎16年」等、いろいろな果物の年数が後に続きます。これは種を蒔いてから初めて果物が稔る年数のことですが、実際に市販されている果樹の苗木のほとんどは「接ぎ木」されている事をご存じでしょうか。ですから、その苗木を植えれば、これよりも早い年数で実を付けることができます。

30数年前、今の松戸市に移り住んだ時、幼い頃から大好きであった柿の木を庭に植えました。数年後、私は、小学生であった頃の昔、農家で果樹栽培をしていた父が古い品種の梨の木に新しい品種の梨の枝を高接ぎし、見事に結実させたことを思い出しました。

庭に植えた1本の柿の木にいろいろな品種の柿の枝を接ぎ、いろいろな柿が食べられたら、なんと楽しいだろう。と考え、接ぐ穂木

欲しさに10種類以上の柿の苗木を購入し、大きくなった当初の柿の木に高接ぎしたところ、見事に成功し、以後あたりはずれの年はあったにしても、毎年、いろいろな柿の味を楽しんできました。この楽しみを多くの人に楽しんでもらいたいと考え、2001年度の千葉大学公開講座～ガーデニング「おいしい果物作り」の修了者に、会設立を呼びかけ、10名が加わり、同年11月10日(土)11名で「日本ファミリーツリーの会」を設立しました。この間に会員の増減はあったものの、14年後の現在は18名となりました。

ファミリーツリーとは1本の果樹にいくつかの品種や同じ系統の種類を接ぎ木し、実を稔らせるもので、16世紀のイギリスで盛んに行われたと云われます。

ファミリーツリーを作ると

- ① 1本の果樹でいろいろな品種の果実が収穫出来る。(狭い庭では多品種の樹は植えられない。)
- ② 1本の果樹の中で品種間の交配が出来るので、実のつきが良くなる。また、百日垣のような不完全甘柿も雄花の多い絵御所や禅師丸を接ぐと実に種が出来て甘くなる。
- ③ 品種により、収穫の時期に差があるので、単品種より長い間収穫が楽しめます。
- ④ 若い果実は甘みが少なかったり、若干渋みが残ったりしますが、古い木に接げば、甘くこくのある果実になります。

30年の果樹に接いだ新品種は30年後の

おいしさを2～3年で味わうことが出来ます。

⑤ 一般的に知られている柿の種類が少ないので、接いだ枝にどんな果実が稔り、どんな歯ざわりでどんな味になるのか、家族の楽しみになります。

⑥ 市販されている柿は、農家として作り易く、日持ち良い等、経済的な理由で限られた品種しか売られていません。柿は何百種類もあり、手に入る品種も沢山あります。絵御所のように、完熟すれば普通の柿の倍近い糖度30度を超える柿もあります。

⑦ 梅にあんず、桃やあんずにネクタリン、ソメイヨシノにサクランボ等近い異種間でも接ぎ木の可能なものもあり、いろいろやってみる楽しみがあります。また、異種間で、どうしても接げない時は、お互いに近い、フレキシブルな枝を接ぐことにより、成功することがあるようです。

⑧ 1本の果樹にいろいろが品種の果物を稔らせることを多くの人には知らないので、話題性があります。

など、いろいろな利点があります。接ぎ木の技術は接ぎ木に関する本に書かれていますが、さほど難しくはありません。

ちょっとしたコツがあるだけです。そのコツを会員同志で教え合っています。現在、会では柑橘類の接ぎ木が盛んで1本のみかんの樹にいろいろな種類のみかんを稔らせて楽しんでいます。

会の1年間行事

1月、総会と新年会、梅、あんず、すももの穂木交換

2月、柿の穂木交換

3月、～4月、柿の接ぎ木

5月、柑橘類の穂木交換

10月、～11月、1～2回の柿を中心とした試食会

ハイキング同好会に参加

土屋 孝夫(34M)

★秋のハイキング★

秋の深まる第28回ハイキングは、平成27年11月14日に実施、群馬県横川駅と長野県軽井沢駅を結ぶ、旧中山道の難所とされる碓氷峠に設けられた信越本線アプト式軌道で、長野新幹線開通に伴い横川駅～軽井沢駅間が廃止され、役目を終えた横川駅車両基地跡地に作られた「碓氷峠鉄道文化むら」と明治期に建設された信越線のアプト式線路跡(国の重要文化財)の遺構を巡る「遊歩道アプトの道」のハイキングです。千葉駅前を6時半に出発、海浜幕張駅で4人が乗車し参加者総勢26名となりました。出発時の天気は曇でしたが現地に近づくに従い小雨が降り始め、山並みにはガスがかかり、遠方景色の眺望が出来ず残念でした。スタートから約4時間弱で目的地「碓氷峠鉄道文化むら」に到着、名物峠の釜めしを買い早めの昼食をバスの中で食べ、いよいよハイキングの出発となりました。



付近の木々の紅葉は見事に色づき気持ちながむ中、トロッコ列車に約30分乗車終点の「とうげのゆ駅」へ到着した。

途中のまるやま駅にある旧丸山変電所は、電化の為明治44年に建てられ国の重要文化財に指定されている。ここから片道約50分ハイキングの開始、線路跡が綺麗に舗装された道ですが、目的地めがね橋までは緩やかな上りが続きます。途中には碓氷湖やトンネルがいくつもあり、碓氷峠の険しさが思い浮かぶとともに周囲の木々の紅葉に見とれました。舗装された道、以前は線路であった。ゆったりとした登り道ですが、30～40分も歩くとさすがに汗ばんできます。



▲ 信越本線跡地の遊歩道

もう一息の声に励まされ歩く道筋は以前列車が何んだ坂こんな坂と走っていた情景が

目に浮かぶようです。トンネルを幾つか通り最終目的にめがね橋へ到着しました。山の中に突然巨大な煉瓦造りの橋に想像を絶する驚きと、この上を列車が走っていたことが夢のように思えました。



▲ めがね橋

このめがね橋は長さ91m高さ30mで我が国最大の煉瓦造りアーチ橋で明治25年に完成。アプト式鉄道を支えてきたが、昭和38年新線開通に伴い廃線となった。

平成5年に国の重要文化財に指定され、平成13年廃線敷を利用した遊歩道アプト道として整備された。しばらくは巨大な煉瓦造りの橋と周囲の紅葉に圧倒され言葉もなく佇んでいました。帰りは来た道に戻りますが、ずっと続く下り道軽やかな足取りでとうげのゆ駅に到着、トロッコ列車発車時には2時間くらいの待ち時間となるので、文化むらまで歩くことにしました。バスは碓氷峠鉄道文化むらを15時前に出発し帰路に着きました。



▲ 参加者26名の集合写真

本部主催グランドゴルフ

土屋 孝夫(34M)

第4回開催は11月6日(金)千葉市若葉区にある高品運動広場で開催された。天気上々風もなくこの時期としては暖かく、今回参加者は総勢21名であった。

競技は10時に開始10ホールを3回廻り、その合計点で順位を決める。

ホールにより距離が違うため、力の入れ加減が中々旨く捉えられず苦勞する。

プレー終了後幹事の方が用意してくれた弁当をいただき、成績発表となった。

東葛支部からは2名が参加して、吉田支

部長は3位、筆者の土屋はブービーの成績で終わった。



▲ 同窓会本部主催 グランドゴルフ大会 参加者

平成27年秋の一般公開は、12月5日～9日の4日間であった。普段は入れない所なので一度はと思い、初日の5日に行ってきた。坂下門から入り、乾門が出口となる道、ほとんどまっすぐで木々の紅葉を眺めながら歩く。途中にあった局門(つぼねもん)の中は何があるのか気になったが不明、警備の皇宮警察官が並ぶ中、張ってあるロープを越えることも出来ず、ただ人ごみに押されながら出口の乾門にたどり着いた。以下写真を並べてみるが、モノ黒写真なので紅葉の様子を伝えられないのが残念だ。



▲ 入場を待つ皇居前広場に並ぶ人の列



▲ 前方入場口坂下門



▲ 紅葉している木々を眺める人たち



▲ 局門(つぼねもん) (中に何があるか不明)



▲ 前方出口乾門



▲ 乾門から皇居を出た所

読書 ～つれづれなるままに～ 徒然草(3)

第八十五段 偽善も善 偽悪も悪 一人の 心素直ならねば

(原文)

人の心素直ならねば、偽りなきにしもあらず。されどもおのずから正直の人、などかなからむ。

己素直ならねど、人の賢を見て羨むは世の常なり。至りて愚かなる人は、たまたま賢なる人を見て、これを憎む。「大きな利を得むがために少しきの利を受けず、偽り飾りて名を立てむとす」とそしる。己が心に違へるによりて、このあざけりをなすにて知りぬ。この人は下愚の性移るべからず。偽りて小利を辞すべからず、仮にも賢を学ぶべからず。

狂人のまねとて大路を走らば、すなはち狂人なり。悪人のまねとて人を殺さば、悪人なり。駿をまなぶは駿のたぐい、瞬を学は瞬の徒なり。偽りても賢を学ばむを賢といふべし。

(訳)

人間の心はまっすぐではないから、嘘をつくこともある。ただし、生まれつきの正直者がいないわけではない。ところが、自分は不正直なのに、他人の正直を羨ましく思うのが人間というもの。

しかも、大ばか者は、まれにいる正直者を見ると、かえって憎しみを抱く。「内心はもつとでかい利益をねらっているのに、小さい利益をわざと受け取らず、いいかっこうをして評判をあげる魂胆なのだ」と中傷する。自分の本心とは合わないからといって、こう嘲笑するのでよくわかる。この大ばか者は死んでも直らない。たとえ嘘でも、小さな利益を断れないし、賢人のまねさえできない。

狂人のまねだといって大通りを走れば、本物の狂人になる。悪人のまねだといって人を殺せば、本物の悪人になる。駿馬をまねる馬は駿馬

の仲間、中国の聖人瞬をまねれば聖人瞬の仲間に入る。

たとえ本心からではなくても、賢人を見習おうと努める者は、賢人と呼んでいいのだ。

(解説)

ことわざ「朱に交われば赤くなる」の応用編である。

遇者が、自分を絶対基準にして他人を評価するのは、よくある話だ。自分だけがすべてだから、遇者は相手をまねる余裕もない。ただ、中傷と増悪に終始する。さて、まねる余裕のある人間は、どうすればよいか。そのとき、善事をまねるか、悪事をまねるかで、人間の価値は決まると、兼好は言う。

実際に何をまねるかが問題なのだ。人格は、まねることによって、向上するからだ。ちなみに、「まねる」は「学ぶ」の語源である。

偽善とか偽悪とか、言葉のあやに騙されてはならない。偽善には否定的な臭いがあるが、嘘でも善事を積み重ねれば、人格者へと向上していく。偽悪の場合も同じで、冷やかし半分に悪友と付き合っているうちに、犯罪者の仲間入りをしてしまう。

人間の本性にある弱点を取り出して注意を促している。

ある高僧が話していました。

「学ぶことは真似することだ。一日の真似は一日の真似。二日の真似は二日の真似。三日の真似は三日の真似。一生真似すれば本物になる」と

(参考文献 角川書店 徒然草)

(記 34M坂巻 実)

● 皆様の趣味や得意とするものをご連絡下さい ●

会員の皆様は、色々な趣味をお持ちだと思いますが、比較的ポピュラーと思われるものについて、役員の中かで一応の担当者を決めてあります。会員の皆様のご趣味・得

意な分野・特技などを把握し、色々な行事や交流にお誘いしたいと考えています。趣味や得意な分野が一致した方は、それぞれの担当者までご連絡下さい。

- | | | | | |
|----------------|-------|-----------|------------------|------------------|
| ● ゴルフ | 土屋 孝夫 | 〒213-0001 | 川崎市高津区溝口3-18-17 | TEL.044-844-2767 |
| ● ハイキング
釣 り | 土屋 孝夫 | 〒213-0001 | 川崎市高津区溝口3-18-17 | TEL.044-844-2767 |
| ● 囲碁・麻雀 | 高橋 健一 | 〒270-0157 | 流山市平和台5-400 | TEL.04-7159-9367 |
| ● スーパー
紙とんぼ | 鎌形 武久 | 〒270-2241 | 松戸市松戸新田21-3 | TEL.047-364-5084 |
| ● 茶 道 | 富田 博 | 〒272-0015 | 市川市鬼高3-12-39-516 | TEL.047-393-0850 |



今後の予定

東葛支部の予定

- 平成28年
 3月19日(土)
 定例会議(高柳近隣センター)
 4月 日()
 支部会計監査(高柳・かつ美)
 5月28日(土)
 定例会議(高柳近隣センター)
 6月12日(日)
 第18回支部定期総会
 (我孫子・鈴木屋本店)
 7月23日(土)
 定例会議(高柳近隣センター)

本部・他支部関係の予定

- 平成28年
 4月2日(土)
 ハイキング同好会
 5月6日(金)
 常任幹事会 千工会館
 5月17日(火)
 ゴルフ同好会 房総CC大上コース
 5月21日(土)
 同窓会総会 母校会議室
 6月26日(日)
 同窓祭 JFE みやざき倶楽部
 9月24日(土)
 麻雀同好会 マーチャオ千葉店

編 集 後 記

同窓会に付いて、他支部の支部長は若返り60歳の方も出てきている。東葛支部は創立後18年目を迎え、同窓会7支部の内一番若い支部であるが、現在の会員平均年齢が75歳強となりその中で役員平均年齢は76歳を上回り、他支部と比較して年齢的には一番高齢化している状況となっている。同窓会に限らず地域の集まりにしても、若い人たちは集まりに無関心でほとんど参加しない。この状況は世の中が変化した事によるものなのか、たとえば年金支給開始年齢が伸びたため定年延長、労働力の不足に寄り継続勤

務、住宅購入ローンの長期化等により働かなければならない等が思い当たる。振り返れば2000年初頭60歳定年の時、その後は毎日が日曜日であり自分が行動しなければ何も起きない。人は一人では生きていけないと感じ、地域の集まりや同窓会組織等に参加して何かを求めたものである。そして大勢の人たちと出会い語り合うことは、自分が成長する源の一つとなるであろうと思える。そのように感じる昨今であるが、さて組織の魅力を付けるために何をどうすべきか、何を改善すべきかこれと言って名案が思い浮かばないのが現状である。

新入会員募集と入会手続きについて

東葛支部では、会員を増やしてどんどん組織を大きくしていきたいと思っています。このため、役員の中に「会員増促進委員会」を作って活動しています。

会員の皆様の仲間で、会員資格のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会を勧めて下さい。

1. 入会資格 千葉工業学校、千葉工業高校、および同校併設中学校の卒業生、ならびにかつて同校に在勤、在学していた方で支部長が認めた方。
東葛地域に居住している方及び千葉県外に居住している方、または出身が同地域の方、同地域に勤務されている方。
2. 会 費 年会費 3,000円
3. 入会手続 役員へ入会申込みされますと郵便振替用紙をお送りしますから、年会費3,000円を振込願います。

支部会報第29号の原稿募集

東葛支部会報第29号の原稿を募集します。

1. 発行予定 平成29年4月
2. 原稿締切 平成29年2月
3. 内 容 母校の思い出・恩師の思い出・私の職場・私の仕事・私の趣味・私の特技・旅日記・近況・クラス会模様・エッセイ・呼びかけ・イベント報告 等、何でも結構です。
4. 投稿方法 卒年科・ご氏名を記入の上、郵便・FAX(自動受信)・E-mailのいずれかでご投稿下さい。
5. 投稿先 編集委員長 坂巻 実 〒277-0921 柏市大津が丘2-4-1
TEL:04-7191-5927 E-mail:minoru.sakamaki@jcom.home.ne.jp
編集委員 土屋孝夫 〒213-0001 川崎市高津区溝口3-18-17
TEL:044-844-2767 E-mail:golf-t@tbn.t-com.ne.jp
編集委員 富田 博 〒272-0015 市川市鬼高3-12-39-516
TEL:047-393-0850 E-mail:c-tomi@rr.em-net.ne.jp

東葛支部会報

第28号

発 行	平成28年4月1日
発 行 者	千葉工業同窓会 東葛支部
発行責任者	支 部 長 吉田勝彦
事 務 局	事務局長代行 土屋孝夫
編集責任者	編集委員長 坂巻 実